



被災地支援の三原則  
被災者中心  
地元主体  
協働

支援の三原則を旨に、柔軟かつ積極的に、全国各地の防災・減災活動支援、被災地支援に貢献すべく活動をしています。



地域・福祉・防災を ともに考える

オフィス園崎

〒279-0012

千葉県浦安市入船5-39-3

TEL:080-5152-3042

E-mail:[officesonozaki@gmail.com](mailto:officesonozaki@gmail.com)

<https://www.officesonozaki.net/>



 Office SONOZAKI  
for blissful moment



**共生 協働 支え合い** をキーワードに  
笑顔があふれる地域づくり  
関係づくりをめざして

## プロフィール



代表 園崎 秀治  
そのざき しゅうじ

1994年、早稲田大学教育学部を卒業、社会福祉法人 全国社会福祉協議会（全社協）に入職。

1999年、台湾中部大震災（死者2,415人、行方不明29人）支援のため2度現地入り。

2005年以来、災害担当として災害発生時に先遣で現地入りし、全国段階での支援の要否確認に入る役割を担ってきた。

訪問した災害ボランティアセンターの数は130を数える。

また長年にわたり、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）による災害ボランティアセンターの運営を支援する支援者派遣の調整を担う。

災害時には、各方面の関係者をつないで協働を推進、支援が円滑に行われるよう働きかけを行ってきた。

2021年、全社協を退職し、より柔軟に、より積極的に全国各地の防災・減災活動支援、被災地支援に貢献すべく、独立。「オフィス園崎」を立ちあげて活動を開始。

## 活動実績・活動内容

- 平時における防災・減災に向けたネットワークづくりや備えのための研修
- 災害ボランティアセンターに関係する各種検討会、研修（センター運営やネットワーク構築、支援者養成等）
- 社会福祉法人や福祉専門職の災害時の支援関連研修（DWAT等）
- 社会福祉施設の事業継続計画（BCP・BCM）策定・運用に関する助言・研修
- 自主防災組織の災害ボランティア活動に関する学習会
- 災害ボランティアネットワーク等の勉強会
- 民生委員・児童委員の災害時の役割や平時の備え
- 宗教団体ならではの災害時の支援の取り組み、研修
- 生協と社協など、各団体間の協働促進
- 青年会議所と社協の協働促進
- 社会福祉協議会や社会福祉施設の職員向けの研修・勉強会
- 高校生に向けた福祉教育をふまえた防災教育の講義
- 全国域・都道府県域・市町村域・町内会単位それぞれにおける災害支援体制構築・防災減災の備え
- 自治体（都道府県・市町村）職員向け災害時官民連携・公助共助の役割等

以上のように、実施してきた研修・講演は多岐にわたります。

## 現在の関わり

- 国立研究開発法人防災科学技術研究所 客員研究員（災害対策に関する研究プロジェクト）
- 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）シニア・コンサルタント
- ぐんまDWAT（災害派遣福祉チーム）アドバイザー
- 長野県社協 防災福祉アドバイザー
- 静岡県社協 災害福祉支援アドバイザー
- サイボウズ社 防災デジタルアドバイザー
- 内閣府TEAM防災ジャパン 世話係
- 情報支援レスキュー隊ITDART 顧問
- 福祉防災コミュニティ協会 福祉防災認定コーチ
- 地元団地において住宅管理組合と自治会に横串をさした自主防災組織「防災委員会」委員（2013年の立ち上げから現在まで関わり続けている）
- 社会福祉法人日本キリスト教奉仕団 理事
- 日本福祉教育・ボランティア学習学会 会員
- 日本仏教社会福祉学会 会員

など

